

## 〈解答〉

- ① 1 ① エ ② ア ③ カ  
 2 A [例] to see your smile B [例] life will become [be] better
- ② a [例] We should think about what we can do for the environment.  
 b [例] (For example,) I will bring my own bag when I go shopping because I don't need to get a plastic bag at a shop. (22語)

配点 ①の1は各1点, 他は各2点 11点満点

## 〈解説〉

## ① 〈対話文和訳〉

グリーン先生：先週、私はあなたたちに笑うことやほほえむことについて何か見つけるように言いました。それをしましたか？ 今日笑うこととほほえむことについて話しましょう。亜矢、あなたは何かおもしろいことを見つけましたか？

亜矢：はい。私はおもしろい質問を見つけました。子供は毎日約400回それをします。大人は毎日約15回それをします。それは何でしょう？わかりますか。そうです、それは笑うことです。

グリーン先生：その質問は① 子供は大人よりもよく笑う ことを意味しますね。それはおもしろい。慎、あなたは何かを見つけましたか？

慎：僕は笑うことについての本を読んだことがあります。その本の中で、笑うことについての研究を知りました。体に痛みをもつ人々がいました。彼らは1時間落語を見て、何度も笑いました。それを見終わった後、彼らの大部分は、もはやひどい痛みを感じなくなり、気分がよくなり始めました。だから、僕たちは② 笑うことは痛みにとって(=痛みを取り除くために) よいと言うことができます。

グリーン先生：わあ！ 笑うことにはすばらしい力がありますね。健、笑うことやほほえむことについて、私たちに何か話してもらえますか？

健：ほほえむことについてのよい話があります。先週の日曜日、僕はショッピングモールに行き、小さな男の子を見かけました。彼は道に迷ったようでした。僕は彼に話しかけましたが、彼は最初、僕と話したがりませんでした。それで、僕は彼にほほえみしました。すると彼もほほえんで話し始めました。最終的に、僕は彼の母親を見つけることができました。僕は③ ほほえむことはだれかとコミュニケーションをとるために重要だ ということ学びました。

グリーン先生：健、あなたは重要なことを学びましたね。さて、私たちは笑うこととほほえむことについてよいことを学びました。私たちはうれしいときに、よくほほえみます。そして、だれかのほほえみを見て、私たちもうれし

いと感じられます。ですから、私たちが学校でこんにちはやさようなら  
と言うときは、ほほえみましよう。もし私たちがほほえみを交わせば、  
私たちはもっとうれしいと感じるでしょう。それは私たちの生活をより  
よくするでしょう。

- 1 ① 亜矢が紹介した質問の内容を、グリーン先生がまとめている。エ「子供は大人  
よりもよく笑う」が適当。  
② 慎は、笑うことが人々の体の痛みを改善するという研究について話している。  
空所を含む文では、その内容をまとめている。ア「笑うことは痛みにとって（＝  
痛みを取り除くために）よい」が適当。  
③ 健は、迷子になった子供と話したときの自分の体験について話している。空所  
を含む文では、その体験から学んだことをまとめている。カ「ほほえむことはだ  
れかとコミュニケーションをとるために重要だ」を入れると意味が通る。
- 2 A 空所の直後に as Ms. Green said とあるので、グリーン先生の発言から当てはまる  
内容をさがす。グリーン先生の4番目の発言に「そして、だれかのほほえみを見て、  
私たちもうれしいと感じられます」とあり、この内容が入ると考えられる。メアリ  
ーが亜矢に言っていることなので、to see your smile とする。  
B 空所を含む文は「私も、ほほえみを交わすことできっと私たちの～と思います」  
という意味。この内容は、グリーン先生の4番目の発言の最後の2文と同じである  
と考えられる。life will become [be] better とする。

## ② 〈和文英訳〉

英作文の解きかたを確認しよう。まず、日本語をよく読んで、以下のポイントを押さ  
えよう。

- ① 「文の種類」を判断する。  
→ (肯定文、疑問文、否定文、命令文など)  
② 「時制」を判断する。  
→ (現在、過去、現在完了など)  
③ 「主語」と「(助)動詞」を判断する。

このあとに、必要があれば、疑問詞や、修飾語句などを付け加える。

慣れないうちは、文頭から書こうとせずに、分かるところから書くようにしよう。

a 「環境のために私たちは何ができるかについて、私たちは考えるべきです」

a前半 「環境のために私たちは何ができるか」

- ①文の種類：疑問文「何を～？」  
②時制：現在  
③主語：私たち  
動詞：する

「何が」は what, 主語は we。「できる」は「することができる」と考えて、「～でき  
る」という意味を表す助動詞 can に do を続けて表す。「環境のために」は for the  
environment と表す。

a後半 「～について、私たちは考えるべきです」

①文の種類：肯定文「～です」

②時制：現在

③主語：私たち

動詞：考える

主語は we。「～と考えるべきです」は should think about で表す。

前半と後半をつなげると、疑問文が別の文の中に入る間接疑問になるので、what 以下は〈疑問詞＋主語＋動詞〉の語順になることに注意する。

→ We should think about what we can do for the environment.

b 解答例は「店でビニールぶくろをもらう必要がないので、買い物に行くときには、自分のぶくろを持っていくつもりです」という意味。

b前半 「店でビニールぶくろをもらう必要がないので」

①文の種類：否定文「～ない」

②時制：現在

③主語：私

動詞：必要がある

理由を表す接続詞 because を使った文にする。主語は I、「～する必要がない」は〈don't need to＋動詞の原形〉で表す。「ビニール袋をもらう」は get a plastic bag と表すことができる。「店で」は at a shop と表す。

b後半 「買い物に行くときには、私は自分のぶくろを持っていくつもりです」

①文の種類：肯定文「～です」

②時制：未来の文

③主語：私

動詞：持っていく

時を表す接続詞 when を使った文にする。主語は I。「買い物に行くときに」は when I go shopping で表す。「～を持っていくつもりです」は will bring で表す。「自分のぶくろ」は my own bag と表す。

前半と後半をつなげると、

→ I will bring my own bag when I go shopping because I don't need to get a plastic bag at a shop.

となる。